

&lt;Japan Buy-out Deal Conference in 新潟&gt;

**企業価値向上シンポジウム****～事業再編、事業承継、経営革新における戦略的視点～**

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、新潟にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業競争力の強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、新潟県を中心とする北信越地区と山形県の庄内地区の企業経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A (mergers & acquisitions) に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための選択肢として認識されつつあります。また、地方企業が経営基盤の強化や生産性の向上を目指して M&A やバイアウトの取り組みを行うケースが増えており、多数の事例が出てきています。この十数年の間に、北信越地区や広域関東圏においても、製造業(輸送用機器、産業機械、電気機器、電子部品、精密金型、プラスチック製品、金属製品、非鉄金属、化学、医薬品、食品、農水産物加工、日用品、木製品、繊維など)、小売・卸売業(食品スーパー、アパレルショップ、専門店、専門商社など)、サービス業(外食チェーン、教育サービス、医療・福祉・介護サービス、法人向けビジネス・サービスなど)、運輸・物流、建設・不動産など多様な業種で事例が登場しました。具体的には、日本企業の事業再編・子会社独立にバイアウトの手法が活用された事例、中堅・中小のオーナー企業の事業承継にバイアウトの手法が活用された事例、多様なネットワークを活用して海外事業を強化した事例、再生企業が資金調達を実施して抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行いさらなる成長・発展を目指す企業の経営者、後継者問題を抱える中堅・中小のオーナー企業の経営者、戦略的 M&A や事業再編を検討している企業の経営者、アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者などの方々にお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**【日時】**

2019年11月27日(水) 13:10~17:30 (12:40 受付開始)

**【会場】**

アートホテル新潟駅前4階「湯沢の間」(新潟県新潟市中央区笹口1-1) JR 新潟駅南口直結

**【参加費】**

1名 18,000円(税込)

**【参加対象】**

- 未上場オーナー企業の経営者、上場企業(子会社を含む)の経営者(経営企画担当、財務担当、社長室など)
- 地域金融機関(地方銀行、信用金庫など)、大手銀行、証券会社 ■弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

**【お申し込み方法】**

申込書でのFAX送信かWebサイト上(<http://www.jbo-research.com/>)で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

**Lead sponsor****Co-sponsors**

**NEXT** ネット・キャピタル・パートナーズ



**ANT CAPITAL PARTNERS**

**iΣ Capital**  
アイ・シグマ・キャピタル株式会社

**TOKIO MARINE CAPITAL**  
東京海上キャピタル株式会社

**ANTELOPE**  
CAREER CONSULTING

**TMI** 総合法律事務所

**JPE**  
Japan Private Equity Co., Ltd.

**ENDEAVOUR**

**TRY HARD INVESTMENTS**  
BUILD THE FUTURE TOGETHER

**RJE** RISING JAPAN EQUITY

**CITIC CAPITAL**  
中信資本

**INTEGRAL**

主催：株式会社日本バイアウト研究所

協力：株式会社三井住友銀行 株式会社中央経済社

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com (担当：杉浦)

# プログラム

## 受付開始 (12:40)

### 基調講演 (13:10-13:50)

テーマ：持続的成長のための戦略的視点 ～再成長・事業再編・事業承継局面での M&A・バイアウトの活用と企業価値向上～  
株式会社 KPMG FAS ディレクター 名畑志帆氏

#### <概要>

日本企業を取り巻く経営環境が大きく変化する中で、従来の延長線上での対応だけでは生き残れない時代が到来している。目まぐるしく変化する経営環境にうまく適応し、持続的な成長を成し遂げるためには、自社の経営資源だけに頼っては限界がある。外部の経営資源を活用する手法としての M&A やバイアウトがどのように活用されているのかを、進める上でのポイントや留意点とともに概説する。

### マーケット・レビュー (13:50-14:30)

テーマ：北信越地区・広域関東圏を中心とした日本のバイアウト案件の動向 ～事業再編、事業承継、海外展開の事例を中心として～  
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

#### <概要>

製造業（自動車部品、産業機械、電子部品、電気機器、精密金型、プラスチック成形、プリント基板、電気機器、化学、食品、農水産物加工、日用品、木製品、繊維など）、卸売業（産業材・消費財）、小売・サービス業（外食チェーン、アパレルショップ、医療・介護サービス、教育サービス、観光サービス、その他）を中心としたバイアウト案件の動向について解説する。特に、事業再編による子会社・事業部門の独立を伴う案件、オーナー企業の事業承継や資本再構築を伴う案件、アジアを中心とする海外事業の強化が実施された案件について、具体的な事例を交えて説明する。

## 休憩 (14:30-14:40)

### 事例紹介① (14:40-15:10)

テーマ：バイアウトの手法を活用した企業成長の実現 ～経営人材の招聘・登用による企業価値向上の事例～  
キャス・キャピタル株式会社 ディレクター 上原進氏

#### <概要>

キャス・キャピタルは、「日本に強い会社をつくる」ことを目的に設立された会社で、製造業および小売・サービス業を中心とする多様な日本の中堅・中小企業の経営支援を行っている。支援先の具体的な経営課題は個別に異なるものの、共通点は支援先の状況をふまえた経営人材の補強・内部登用を行う点である。本プレゼンテーションでは、非破壊検査・マーケティングの総合メーカーであるマークテックや、建設用軽仮設機材のレンタル業を営むアクトワンヤマイチにおける支援の事例を紹介する。また、これらの事例を通じて、より一般的な観点でバイアウトの手法の活用が企業価値向上へ向けた有力な戦略的選択肢となり得ることについて考察する。

### 事例紹介②インタビュー・セッション (15:10-15:45)

テーマ：自動車部品メーカーの再生と成長 ～マルイ工業の事例～  
マルイ工業株式会社 代表取締役社長 小川正之氏  
ネクスト・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネジャー 田邊健介氏  
聞き手：株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

#### <概要>

国内基幹産業の一つに位置づけられる自動車産業は、モータリゼーションの進む新興国における需要に後押しされ、国内完成車メーカーのグローバルでの生産台数は、2000年以降大幅に増加している。他方で、国内における生産台数はリーマン・ショック後の低迷期から回復してきているものの、海外での現地調達・現地生産に移行しているメーカーもあり、全体としては維持もしくは減少傾向となっている。旧日産系列のマルイ工業（本社：新潟県胎内市）においては、日産リバイバルプランの実行以降、上述の事業環境の変化などに伴い窮地に至ったものの、多様な施策に果敢に取り組みV字回復を果たした。本セッションではこれまで取り組んできた施策および今後の展望について紹介する。

## コーヒーブレイク (15:45-16:00)

### パネルディスカッション (16:00-17:15)

テーマ：日本企業の次なるステージへの飛躍に向けて ～バイアウトの手法を活用した企業価値向上戦略～  
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 ディレクター 尾又康介氏  
アイ・シグマ・キャピタル株式会社 シニア・ヴァイス・プレジデント 頼末晃氏  
東京海上キャピタル株式会社 プリンシパル 大岸崇是氏  
司会者：アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 取締役 山本恵亮氏

#### <概要>

激変する環境下において、人材不足、マーケティング・チャネルの拡大、グローバル化への対応、財務体質の強化などの経営課題を抱えている中堅・中小企業が多いが、M&A やバイアウトの手法はこれらの課題を解決する有力な手段となる。本セッションでは、製造業（産業財・消費財）および小売・サービス業を含む多様な業種の案件に参与しているプロフェッショナルに登壇頂いて、どのような経営課題を抱えている企業がバイアウトの対象になるのかについて紹介する。また、飯野製作所（自動車部品の製造）、東日興産（建設機械・農業機械部品の販売）、フェニックスインターナショナル（ニットウェアを中心としたアパレル製品の企画・製造・卸売）、旭ハウス工業（仮設資材の販売・レンタル）、ミスズライフ（ぶなしめじ・ぶなクイーンの生産・販売）、マルサヤ（鰹節・削り節・海産物の製造・販売）など、多彩な事例を取り上げながら、バイアウトの手法を活用する際の留意点や企業価値向上に向けたキーポイントなどについての討論を行う。

### クロージング・スピーチ (17:15-17:30)

テーマ：M&A・事業再編・事業承継と法的留意点 ～バイアウトの活用も含めて～  
TMI 総合法律事務所 弁護士 池田賢生氏  
TMI 総合法律事務所 弁護士 清水真紀子氏

\* 本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。